

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成30年度～平成34年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（いしかりそらち） 石狩空知森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 いしかり 石狩森林管理署 そらち 空知森林管理署 そらち 空知森林管理署北空知支署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央部よりやや西寄りに位置する、札幌市を含む14市14町2村に所在する国有林約445千haを対象としている。</p> <p>人工林面積は約21%にあたる約93千haで、そのうち間伐の対象となる林分が約8割となっている。さらに今後は主伐対象となる林分も増え、併せて更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>本森林計画区は、北空知地域（空知森林管理北空知支署管内）、夕張山系地域（空知森林管理署管内）、定山溪・千歳地域、浜益・厚田・当別地域及び積丹地域（石狩森林管理署管内）の5地域により構成されている。</p> <p>北空知地域は、石狩川の支流である雨竜川上流の両岸に位置し、道内有数の寒冷多雪地帯であり、厳しい気象条件の影響等から、人工林等においては期待した成長が見込めず、笹生地又は疎林化した森林も分布している。地域内には、朱鞠内湖をはじめ、多くの飲料用、農業用水等の貯水施設があることから、上流部にある国有林野は、その水源地として水源涵養の役割が求められている。また、崩壊地等の脆弱な地質が広く分布することから、土砂の流出等を防ぐ山地保全の役割を果たすことも期待されている。</p> <p>夕張山系地域は、夕張岳（1,668m）、芦別岳（1,727m）を主峰として、空知川、幾春別川、夕張川等の集水域となっている山地で、桂沢湖、シューパロ湖をはじめ、多くの飲料用、農業用水等の貯水施設があることから、上流部にある国有林野は、その水源地として水源涵養の役割を果たすことが期待されている。</p> <p>定山溪・千歳地域は、朝里岳（1,281m）、無意根山（1,464m）、漁岳（1,318m）、恵庭岳（1,320m）を主峰として、豊平川、千歳川、漁川等の集水域となっている山地である。この地域の森林は、ほとんどが水源かん養保安林に指定され、近郊都市圏の水源地として重要な役割を担っている。また、支笏洞爺国立公園や野幌森林公園道立自然公園森林については、人工林を主体に、平成16年の台風18号により多大な風倒被害を受けたところであり、その跡地を早期に復旧し、森林の役割を十分に果たすことが求められている。</p> <p>浜益・厚田・当別地域は、石狩市浜益区・厚田区及び当別町の日本海に面する海岸線から内陸に位置し、この地域の森林は、ほとんどが水源かん養保安林に指定され、水源涵養の役割が求められているとともに、厚田川上流域では岩石地等が多く介在していることから、山地保全の役割を果たすことも期待されている。</p> <p>積丹地域は、積丹半島から朝里岳までの日本海に面する海岸線から内陸に位置し、この地域の森林は、ほとんどが水源かん養保安林に指定され、水源涵養の役割が求められているとともに、美国川、余市川上流域では岩石地等が多く介在していることから、山地保全の役割を果たすことも期待されている。</p> <p>本森林計画区内の産業としては、作付け面積が全道の約半数を占める水稻をはじめとする農業や、サケ、ホタテ貝、ニシン等が主要生産魚種となっている漁業が地域の基幹産業となっており、これらの繁栄に繋がる適切な森林の管理経営が求められている。</p> <p>本事業は、これらの地域の期待に応えるとともに地球温暖化防止にも積極的に寄与するために必要な植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p>		

	<p>主な事業内容</p> <table> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>2,299</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>50,009</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>83.7</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.4</td> <td>km</td> </tr> </table> <p>総事業費</p> <p>9,009,286 千円</p>	森林整備	更新面積	2,299	ha		保育面積	50,009	ha	路網整備	開設延長	83.7	km		改良延長	2.4	km
森林整備	更新面積	2,299	ha														
	保育面積	50,009	ha														
路網整備	開設延長	83.7	km														
	改良延長	2.4	km														
費用便益分析	<p>総便益 (B)</p> <p>49,584,283 千円</p>																
	<p>総費用 (C)</p> <p>13,175,123 千円</p>																
	<p>分析結果 (B/C)</p> <p>3.76</p>																
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	<p>事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当であると考えます。</p>																
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本地域は、大半が保安林となっており、都市圏の水源地として、また、農業の振興や漁場の保全に資する観点から、水源涵養機能の高度発揮が求められている。更に、地球温暖化防止対策や国土保全に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用便益分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本事業により、森林が健全な状態に維持され、水源涵養、国土保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮が期待される。また、効率的な森林整備により、地域の基幹産業である農業や漁業の振興にも資することから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																

別紙様式7

整理番号1

便 益 集 計 表

事業名:森林環境保全整備事業
 事業実施地区名:石狩空知森林計画区(いしかりそらち)
 (都道府県名:北海道)

事業実施主体:石狩北部森林管理署
 :空知森林管理署
 :空知森林管理署北空知支署
 (単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 (千円)	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	10,184,867	
	流域貯水便益	3,409,750	
	水質浄化便益	7,598,243	
山地保全便益	土砂流出防止便益	15,288,761	
環境保全便益	炭素固定便益	6,363,655	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	1,363,150	
	木材利用増進便益	1,121,442	
	木材生産確保・増進便益	3,162,640	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	1,706	
	森林管理等経費縮減便益	92,115	
	森林整備促進便益	997,954	
総 便 益 (B)		49,584,283	
総 費 用 (C)		13,175,123	
費用便益比	B÷C=		3.76

